

令和3年8月定例会（9月6日）

◆42番（森田卓司議員） 皆さんおはようございます。個人質問トップバッターを狙って通告は一番にしたんですけど、2番バッターの1になってしまいました森田卓司でございます。自由民主党岡山市議団でございます。

季節は確実に変わって行って、6月議会は桃の話だったんですけど、今はブドウの季節になってまいりました。そして、朝晩もすっかり寒く、寒いと感じるような我が家のほうでございます。

一つだけ。御津の鹿瀬という町内会があるんですけど、平林金属さんのライズ球場のちよつと北のところ、ブドウの直売というか、町内会の有志の方だと思うんですけど、販売されておりまして、私も町内会長さんからちょっと呼ばれて行って、二、三日でやめる予定だったらしいんですけどずっと、今朝来るときも準備されていたので、相当売行きがいいのかなと思っておりまして。私がフェイスブックに投稿してまして、それを見たと言ったら10%割引をしてくれるという話はしていませんが、ぜひお立ち寄りいただき、いつまでするかというのは聞いてないんですけど、ぜひ行ってみたいと思います。行って買ってあげたいと思います。

では、通告に従いまして質問に入ります。

災害時の避難所等の運営について。

災害はいつどこで起こるか分からないと言われております。今年も近年と変わらず猛暑が続いておりましたが、お盆期間中に前線停滞による豪雨で西日本を中心に記録的な大雨となりました。旭川ダムでは、8月8日日曜日から60トン毎秒の事前放流を始め、8月14日土曜日に1,126トン毎秒の最大放流で、その前後は1,000トン毎秒前後の放流でした。1,000トン前後の放流量であれば支流の河川の増水にもより変化することもあるとは思いますが、旭川沿川では大きな水害にはならないと思います。ぜひとも旭川ダム管理関係者と協議する機会をつくり、事前放流を含め、放流量を災害がない範囲に抑えることを要望していただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

また、同時に新型コロナウイルス第5波の感染拡大が続き、岡山県でも過去最多の感染者と発表が続く日々でした。そのような中、8月14日午前8時に北区建部・福渡地域に避難指示が発令されました。今回、避難場所は建部中学校、御津中学校及び安全な親戚・知人宅への避難も検討してください、及び避難の際には近所の方に声をかけて避難してくださいとも付け加えての避難指示の発令でありました。

そこでお尋ねいたします。

- 1、避難所運営等を行う指定職員、緊急初動班の配備体制についてお聞かせください。
- 2、全避難所で何人の避難者か、把握されていればお示しください。
- 3、平成30年の豪雨災害時に比べると避難所の運営もスムーズであったと私思いますが、どのような認識をお持ちか、お示しください。
- 4、コロナの収束を願うばかりですが、台風シーズンを迎えての避難所の感染拡大防止対策をお示しください。
- 5、第2回目の避難所開設についてのメールで、避難を希望される新型コロナウイルス感染症の自宅療養者及び濃厚接触者の方は、避難所をお知らせいたしますので、岡山市の新型コロナウイルス受診相談センターにお問い合わせくださいと示されています。実際に受診相談センターに避難の相談はあったのでしょうか。あったとすれば何件の相談があったか、お示しください。また、避難する場合はどのような場所を準備していたのか、お示しください。
- 6、御津中学校、建部中学校が事前開設の指定避難所になりましたが、いずれも体育館が2階になっています。近くに御津小学校、建部小学校があり、避難場所も1階になっています。御津・建部地域では、障害者の方、高齢者等の方の避難を考えると、事前開設の指定避難所を小学校に変えるべきだと思いますが、いかがでしょうか。また、同じように2階が事前開設の指定避難所になっている地域はほかにあるのかどうか、お示しください。
- 7、地元消防団は、避難指示を伝えるために車両より広報を行ったと聞いています。今回の活動に対して費用弁償などの出動手当は支給されるのか、お示しください。

以上で1回目の質問を終了します。

御清聴ありがとうございました。

◎大森雅夫市長 それでは、お答えいたしたいと思っております。

私は、平成30年の災害時に比べると避難所運営もスムーズであったということで、それに対する認識でありますけれども、評価していただいたと思っております。ありがとうございます。

す。私自身も、3年前に比べると随分この危機管理対応がスムーズにいったんではないかなと思っています。避難所でいきますと、避難情報を発令する地域の小学校、中学校、公民館を原則同時に開設する、また明るい時間帯に安全に避難できるよう事前開設を実施、こういったことの措置によって市民の皆さんが安全な時間帯に円滑に避難できたのではないかなと思っています。

それから、何人かの議員さんからもお話をいただいたんですけれども、今回やっぱり用水路の水位の調整も事前に行っており、そこもうまく機能したのかなとは思っております。

旭川ダムの放流についても、事前放流などをやらせていただいておりますが、議員の御指摘もあります。我々のほうも、その議員の認識を踏まえて、今後さらに検討していきたいと思っております。

ただ、今スムーズにできたと申し上げましたけれども、今回8月13日から15日の48時間降水量は151ミリでありました。それに対して、3年前の7月豪雨は48時間雨量が史上最大ということで307ミリとなっております。そういう意味では、今回の我々の措置で満足しちゃうのではないと思っております。他の地域はもっともっとすごい降雨量になっておりますんで、我々としてもシミュレーションをきちっと重ねながら、来なくていいんですけど、もし万が一の大雨が来たときに対応できるように整理していきたいと思っております。

以上です。

◎荒木昭彦危機管理監 災害時の避難所等の運営についての項、市長答弁以外について順次お答えいたします。

まず、避難所運営等を行う指定職員、緊急初動班の体制についてです。

指定職員は、避難所ごとに1班2名として複数班の職員を配置しております。緊急初動班は、勤務時間外に岡山市で震度4以上の地震が発生した場合や津波注意報または警報が出された場合に指定された場所に出動し、情報収集をはじめ必要な対応を行うもので、参集箇所までの距離がおおむね5キロ以内に居住する職員の中から選ばれた職員で構成しております。

次に、8月13日から3日間の避難者数についてです。

25か所の避難所を開設し、そのうち11か所の避難所へ73世帯124名の方が避難されております。

次に、避難所の感染拡大防止対策についてお答えいたします。

避難所にはアルコールや非接触体温計、フェイスシールド、ソーシャルディスタンス確保のためのパーティション等を配備しております。また、避難時には受付での検温や問診を行い、体調不良者の方は専用スペースへ案内いたします。さらに、定期的な換気や清掃、消毒、せきエチケットや手洗いの徹底など、感染防止に努めることとしております。

次に、新型コロナウイルス感染者への対応についてです。

自宅療養者及び濃厚接触者の方から避難に関する問合せは今回ございませんでした。避難所については、施設の立地、構造、十分な感染防止対策が取れることなどを考慮し、自宅療養者用に1か所、濃厚接触者用に4か所準備しております。具体的な施設につきましても、感染者、濃厚接触者であることが特定されることを恐れ避難をちゅうちょされることが懸念されること、そして個人情報保護の観点から、非公表としております。

最後に、事前開設の避難所は1階にすべきではないか、また2階に避難する避難所の数についてお答えいたします。

事前開設する避難所は、要配慮者等の避難を考慮し、改めて開設場所を検討してまいりたいと考えております。また、2階が避難スペースになっている避難所は18施設ございます。

以上です。

◎藤原誠消防局長 同じ項、避難指示の広報に対する出動手当の支給についてです。

今回の避難指示発令に伴う消防団車両による巡回広報については、消防団本部の指示により実施されたもので、条例に定める出動手当の支給対象となります。

以上です。

◆42番（森田卓司議員） 御答弁ありがとうございます。

まず、旭川ダムなんですけど、本当に僕3回この雨が長雨だった期間行って、1,000トン以上流さんってなと何回も言ったんでそれで流さんかったかどうか分かりませんけど、本当に1,000トンが旭川沿川の安全、それからいろんな施設が守られる上限かなと思っています。ぜひ市長も県の関係者と話をするときがあったら、そのことをお伝えいた

きたいと思えます。

僕、今聞いておって、まず指定職員なんですけれど、建部や御津のほうに遠くのほうから来ている職員の方もいらっしゃる。どういうふうな分け方をしているのかを聞いたから、局で分けとんじやというようなことを仄聞したわけなんですけれど、やっぱりその中に地元の職員さんが一人ぐらいいはいたほうがいいのではないかなという感じがします。よく地形が分かっている人がいたほうがいいのではないかなと思っていますので、そのことについては御所見をお示してください。

それから、今回、市長が先ほど言われたように、降雨量が少なかったためか、やっぱり避難指示が出ても避難する人が少なかったように思います。それで、結構自主防災会の方とかが指定職員の方と一緒に待っていたけれど誰も来なかったところもあるし、来ても避難者が少なかったような感じがいたしました。それはやっぱり先ほど言われた、降雨量が少なく、これぐらいなら安心だろうと、自宅が安全だと思われたのかも分かりませぬけれど、もっと広報してくれというような指摘もありました。そういう意味で、先ほど消防局長が言われたように、消防団の方の果たす役割というのも非常に大きいのではないかなと思います。ほとんど大きな被害がなかった、けが人もなかったということで、シミュレーションとして生かすことで、災害がないことにこしたことはないし、起こってはならないわけなんですけれど、ぜひそういう中で今後の体制というのを考えていただきたいと思えます。

以上で終わります。

◎荒木昭彦危機管理監 1つ目にいただきました指定職員の配置についてでございます。

地元の職員が避難所に行けたらいいのではないかなというこの御意見は、以前からもいただいております。休日等々であれば、そういう方であれば早く着くんじゃないかということもありますので、このことについては引き続き検討させていただきたいと思えます。

それと広報、避難者数が少ないという部分なんですけど、我々できる限り広報をいろんな手段でやっておるんですが、今後何が出来るか、本当に避難していただかないといけない方に避難していただけるように広報を考えてまいりたいと思えます。

以上です。